

刀 折り返し銘 備前国住雲（以下切）

刃長 680mm 反り 19mm 元巾 28.3mm 元重 6.0mm 鎗重 6.4mm 茎長 159

鎗造り、やや低い庵棟、身幅尋常に平肉付き、華表反り。彫り表裏とも片子りの棒樋を表掻き通し、裏は掻き流す。鍛え板目に空交じり、地沸ついで肌立ち、地景入り、地斑風を交えて物打ち鎗寄りに淡い直ぐ映り立ち、下半処々に指で押したような特徴ある黒い映りが見られる。刃文物打ちは匂い口沈み加減に締まった直刃、以下は小沸ついで小互の目と僅かに小乱れを交え、よく足入り、所々逆掛かる。帽子三作風に湾れこんで先中丸。茎、大摺り上げ、茎棟、刃方とも角、鑢目勝手下り、原鑢は不明。重要刀剣

